

2023年1月17日

各位

会社名 ルーデン・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 西岡 孝
(東証グロス・コード 1400)
問合せ先 取締役管理部門管掌兼管理本部長
佐々木 悟
電話 03-6427-8088

過年度決算短信等の一部訂正に関するお知らせ

当社は、本日付で、下記のとおり過年度の決算短信および四半期決算短信の一部訂正を下記のとおり行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日（2023年1月17日）付「過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

(訂正前)

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社である Ruden Singapore Pte. Ltd. の ICO については、当社及び当社監査法人は慎重に協議いたしましたが、前連結会計年度に引き続き、当第1四半期連結累計期間においては収益認識しないと判断したため、連結決算には組み

込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。

この結果、売上高0百万円（同99.6%減）、営業利益0百万円（前年同四半期は営業損失32百万円）となりました。

（訂正後）

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高0百万円（同99.6%減）、営業利益0百万円（前年同四半期は営業損失32百万円）となりました。

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

（訂正前）

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社である Ruden Singapore Pte. Ltd. の ICO については、現地監査法人の見解はプラットフォーム構築の完了をもって収益認識するということでした。それを受けて、当社及び当社監査法人は慎重に協議いたしましたが、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、第2四半期連結累計期間においても収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。そして、Ruden Singapore Pte. Ltd. の口座開設については孫会社の口座を利用することとしております。また、ICO時に調達した1,700Bitcoinについては、今のところ現金化していませんが、現段階では現金化の時期や方針について具体的に定まった方針はないものの、相場と資金需要をみて、順次現金化していく予定です。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の業績は、売上高0百万円（同91.7%減）、営業損失4百万円（前年同四半期は営業損失37百万円）となりました。

(訂正後)

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の業績は、売上高0百万円(同91.7%減)、営業損失4百万円(前年同四半期は営業損失37百万円)となりました。

2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

(訂正前)

④その他事業

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社である Ruden Singapore Pte. Ltd. の ICO については、当社及び当社監査法人は慎重に協議いたしましたが、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、第3四半期連結累計期間においても収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。そして、Ruden Singapore Pte. Ltd. の口座開設については孫会社の口座を利用することとしております。また、ICO時に調達した1,700Bitcoinについては、今のところ現金化しておりませんが、現段階では現金化の時期や方針について具体的に定まった方針はないものの、相場と資金需要をみて、順次現金化していく予定です。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるその他の経営成績は、売上高0百万円(同96.0%減)、営業損失20百万円(前年同四半期は営業損失41百万円)となりました。

(訂正後)

④その他事業

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるその他の経営成績は、売上高0百万円(同96.0%減)、営業損失20百万円(前年同四半期は営業損失41百万円)となりまし

た。

2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

(訂正前)

④その他事業

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社である Ruden Singapore Pte. Ltd. の ICO については、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、第4四半期連結累計期間においても収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。また、ICO時に調達した1,700Bitcoinについては、今のところ現金化していませんが、現段階では現金化の時期や方針について具体的に定まった方針はないものの、相場と資金需要をみて、順次現金化していく予定です。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても現在は未定ですが、状況を鑑みながら判断する予定です。

この結果、売上高0百万円(前年同期は売上高はありませんでした。)営業損失23百万円(前年同期は営業損失66百万円)となりました。

(訂正後)

④その他事業

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高0百万円(前年同期は売上高はありませんでした。)営業損失23百万円(前年同期は営業損失66百万円)となりました。

2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

(訂正前)

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社である Ruden Singapore Pte. Ltd. の ICO については、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、当第 1 四半期連結累計期間においては収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。
また、ICO 時に調達した 1,700 B I T C O I N については、今のところ現金化しておりませんが、現段階では現金化の時期や方針について具体的に定まった方針はないものの、資金需要と相場を考慮し、順次、現金化していく予定です。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても、新型コロナウイルスの影響もあり現在は未定ですが、状況を見極めながら判断する予定です。

この結果、売上高 0 百万円 (同 17.4%増)、営業損失 0 百万円 (前年同四半期は営業利益 0 百万円) となりました。

(訂正後)

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高 0 百万円 (同 17.4%増)、営業損失 0 百万円 (前年同四半期は営業利益 0 百万円) となりました。

2020 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

(訂正前)

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社である Ruden Singapore Pte. Ltd. の ICO については、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、当第 2 四半期連結累計期間においては収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでお

りません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。
また、ICO時に調達した1,700BITCOINについては、今のところ現金化しており
ませんが、現段階では現金化の時期や方針について具体的に定まった方針はないものの、
資金需要と相場を考慮し、順次、現金化していく予定です。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても、新型コロナウイルスの影響もあり現在は未定ですが、状況を見極めながら判断する予定です。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高0百万円（同95.5%減）、営業損失0百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

（訂正後）

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高0百万円（同95.5%減）、営業損失0百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

（訂正前）

④その他事業

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社であるRuden Singapore Pte. Ltd. のICOについては、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度においても収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。
今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。また、ICO時に調達した1,700BITCOINについては、現段階では具体的な方針は定まってお
りません。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても、新型コロナウイルス感染症の影響もあり現在は未定ですが、状況を鑑みながら判断する予定です。

この結果、売上高0百万円（前年同期比90.5%減）営業損失1百万円（前年同期は営業損失23百万円）となりました。

(訂正後)

④その他事業

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、非常に厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高0百万円（前年同期比90.5%減）営業損失1百万円（前年同期は営業損失23百万円）となりました。

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

(訂正前)

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社である Ruden Singapore Pte. Ltd. のICOについては、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、当第1四半期連結累計期間においては収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。
また、ICO時に調達した1,700BITCOINについては、現段階では具体的な方針は定まっておりません。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても、新型コロナウイルス感染症の影響もあり現在は未定ですが、状況を見極めながら判断する予定です。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高0百万円（同53.2%減）、営業損失0百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(訂正後)

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高0百万円（同53.2%減）、営業損失0百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

(訂正前)

④その他事業

その他事業に関しましては、医療関連機器の販売により、順調に推移いたしました。

また、当社の子会社である Ruden Singapore Pte. Ltd. のICOについては、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、当第2四半期連結累計期間においては収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。

また、ICO時に調達した1,700BITCOINについては、現段階では具体的な方針は定まっておりません。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても、新型コロナウイルスの影響もあり現在は未定ですが、状況を見極めながら判断する予定です。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高20百万円(前年同四半期は売上高0百万円)、営業利益17百万円(前年同四半期は営業損失0百万円)となりました。

(訂正後)

④その他事業

その他事業に関しましては、医療関連機器の販売により、順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高20百万円(前年同四半期は売上高0百万円)、営業利益17百万円(前年同四半期は営業損失0百万円)となりました。

2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

(訂正前)

④その他事業

その他事業に関しましては、医療関連機器の販売により、順調に推移いたしました。

また、当社の子会社である Ruden Singapore Pte. Ltd. のICOに

については、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、当第3四半期連結累計期間においては収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。また、ICO時に調達した1,700BITCOINについては、現段階では具体的な方針は定まっておりません。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響もあり現在は未定ですが、状況を見極めながら判断する予定です。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高30百万円（前年同四半期は売上高0百万円）、営業利益26百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

（訂正後）

④その他事業

その他事業に関しましては、医療関連機器の販売により、順調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他事業の経営成績は、売上高30百万円（前年同四半期は売上高0百万円）、営業利益26百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

（訂正前）

④その他事業

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社であるRuden Singapore Pte. Ltd. のICOについては、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度においても収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても、新型コロナウイルス感染症の影響もあり現在は未定ですが、状況を見極めながら判断する予定です。現在まで同BITCOINを現金化してこなかったのはコロナ禍で追加開発を休止せざるを得なかったからであります。また、2022年2月10日にお知らせした「特別損失のお知らせ」のとおり、同BITCO

INについて調査をする予定となっておりますので、その結果によって追加開発等については協議をしたうえで判断することといたします。

この結果、売上高 30 百万円（前年同期は売上高 0 百万円）営業利益 26 百万円（前年同期は営業損失 1 百万円）となりました。

（訂正後）

④その他事業

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高 30 百万円（前年同期は売上高 0 百万円）営業利益 26 百万円（前年同期は営業損失 1 百万円）となりました。

以上